

愛知県立大学は『創立70周年』を迎えました!!

昭和22年に愛知県立女子専門学校として発足した本学も、現在では外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部の5学部を擁する複合大学へと成長し、今年、創立70周年を迎えました。

これを記念し、11月5日、プロジェクションマッピングとロボット達によるオープニングセレモニーで記念式典の幕が開かれました。引き続き、全学同窓会主催による記念行事・講演会・懇親会が実施され、歴代学長、本学名誉教授および同窓生ならびに本学の教育研究活動をご支援いただいている多くの方々にご来場いただきました。



医療分野ポルトガル語スペイン語講座が開講10周年を迎えました!!

愛知県立大学「医療分野ポルトガル語スペイン語講座」が今年度開講10周年を迎え、記念シンポジウム「外国人にやさしい医療現場をつくる」を開催しました。基調講演では、りんくう総合医療センター(大阪)国際診療科の南谷先生が、同病院での医療通訳の活動や教育について話されました。後半のパネルディスカッションでは、医療通訳の現状、人材育成、制度の整備といった問題について、医師、通訳コーディネーター、医療通訳者という3名の専門家が、それぞれの経験と視点から話した後、参加者との質疑や意見交換を行い、医療文化の違い、医療従事者と通訳の役割などを考える貴重な機会となりました。



編集後記

こんにちは、今号で県大祭の撮影を担当しました、外国語学部中国語科4年の佐藤です。「探県大Vol.23」も無事発刊することができました。今号制作にご協力いただいた皆様へ心から御礼申し上げます。

2年生から広報スタッフとして「探県大」制作に携わってきた私ですが、今号で引退です。広報スタッフになり、「探県大」の制作だけでなく、オープンキャンパスの運営・ポスター撮影など、様々な経験をさせていただきました。それらの経験が生き、来春より写真関係の会社で勤務することが決まりました。広報スタッフとしての活動のおかげで今の自分があります。入試・広報課の皆様、長い間本当にお世話になりました。

今、この「探県大」を手にして下さっている皆様、これからも「探県大」のご愛読よろしくお祈いします!!



在学生と未来の在学生のための愛知県立大学広報誌

第19回県大祭

今年度の第19回県大祭は11月4日(金)から11月6日(日)にかけて開催いたしました。当日は県大生だけでなく子どもからお年寄りの方まで、たくさんの方々にご来場いただき、大変嬉しく思います。

今年度のメインテーマは「千祭一遇」です。二度と来ない稀な機会を意味する千載一遇と、県大祭をかけ合わせたテーマです。一度だけしか無い第19回県大祭を大いに盛り上げようと、企画運営を行ってきました。

当日は三日間を通して、国際色豊かな料理の並ぶ模擬店、朝から夜まで盛り上がりの衰えないステージ、たくさんの来場者を笑顔にした実行委員企画、「家族」をテーマに長久手市内の学校や地域サークルなどの作品を展示した「Art Of Life」企画、人気お笑い芸人による「ラフライブ!」等、様々な企画を行いました。また、

今年は夜の県大をイルミネーションで飾りました。ご来場していただいたすべての方々の心に残るイルミネーションであったなら県大祭実行委員としてうれしいです。

現在すでに第20回県大祭に向けた準備が始まっています。来年度の県大祭は、さらにパワーアップしてみなさんをお待ちしています。ぜひご期待ください。



第19回県大祭実行委員長
原田 一希

